

証券コード 5208

2021年5月6日

<http://www.arisawa.co.jp>

2021年3月期 連結決算の概要



株式会社 有沢製作所

目次

- 2021年3月期 連結決算
- 2022年3月期 業績予想
- 参考資料

■ 連結決算

(単位:百万円)	20年3月期 通期実績	21年3月期 1/28予想	21年3月期 通期実績	前期比	予想比
売上高	45,970	45,800	46,439	1.0%	1.4%
営業利益	2,762	2,600	3,118	12.9%	19.9%
営業利益率	6.0%	5.7%	6.7%	0.7%	1.0%
経常利益	2,783	2,800	3,578	28.6%	27.8%
純利益	212	1,600	2,160	915.4%	35.0%
一株利益(円)	6.14	48.06*	64.94	957.7%	35.1%
配当金(円)	30.00	34.00	39.00	30.0%	14.7%
為替レート(円/\$)					
平均……	109.03	106.76	106.76		
期末……	108.83	105.00	110.71		

* 12月31日現在での株式数で試算

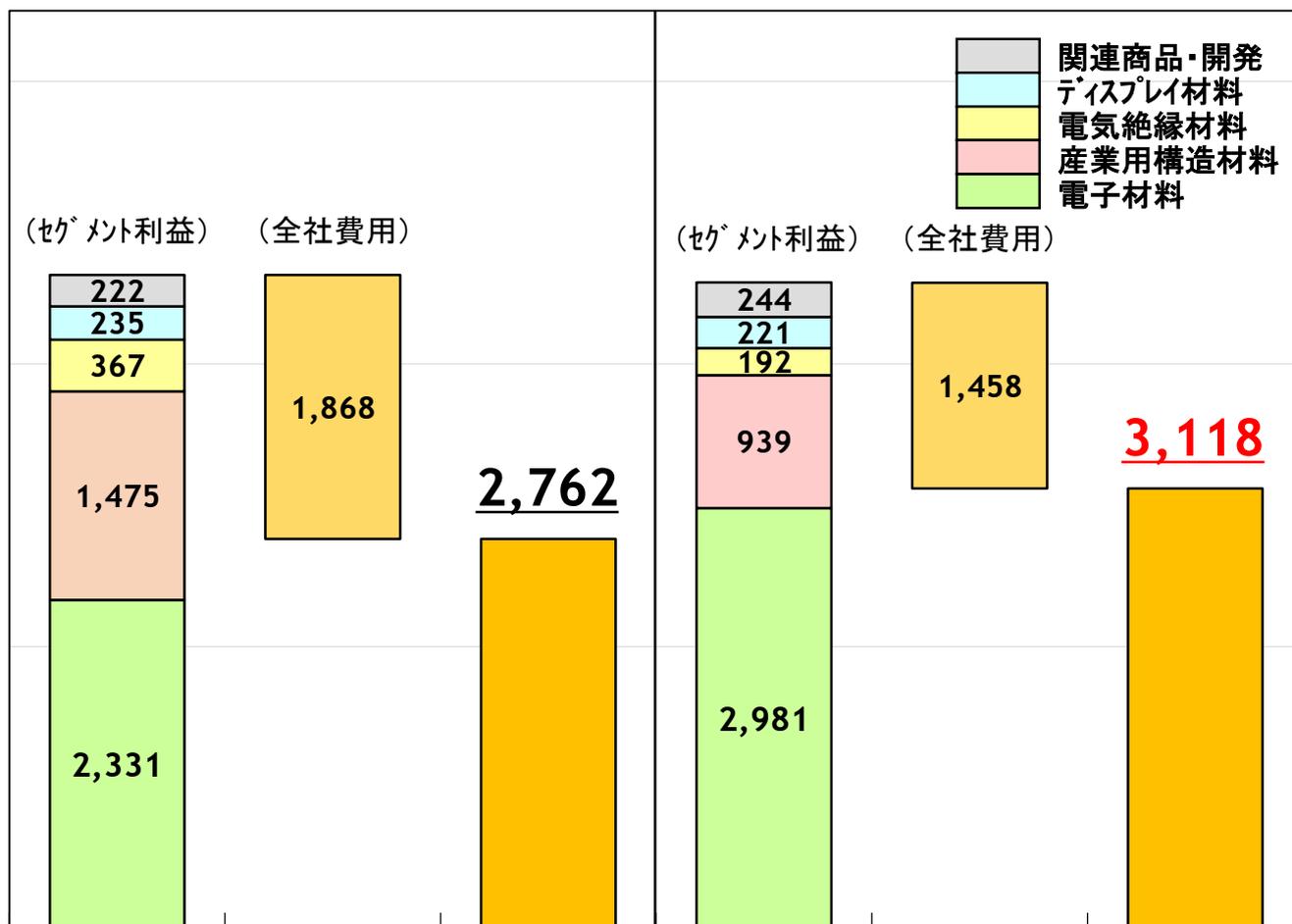
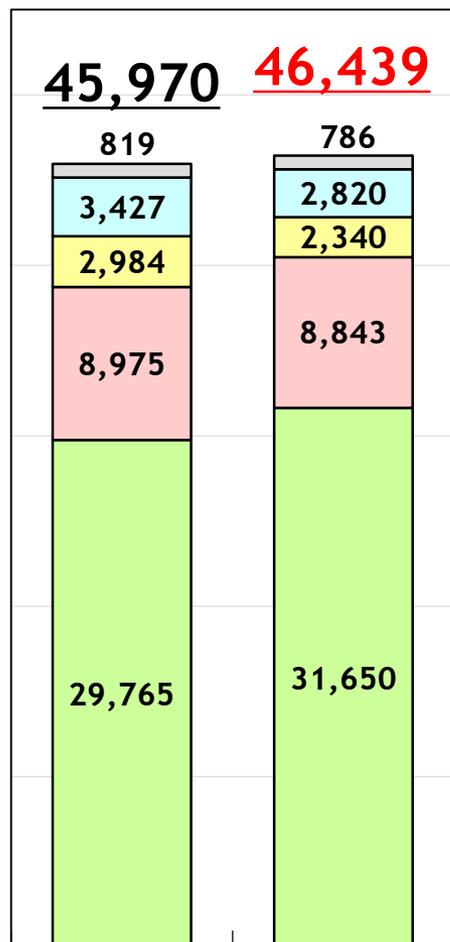
■ 2021年3月期通期 連結決算ハイライト

- ・連結売上高は、電子材料が増加し前期比1.0%の増収。
営業利益は、電子材料の収益改善により同 12.9%の増益。
- ・電子材料は、FPC用材料、ガラスクロス、プリプレグ及びリジットプリント配線板が堅調に推移したことで、前期比 6.3%の増収。
- ・産業用構造材料は、車載用材料が順調に立ち上がったが、ハニカムパネルを中心とする航空機用材料がコロナ禍の影響を受けたことにより、前期比 1.5%の減収。
- ・経常利益は、為替差益により前期比28.6%の増益。
- ・当期純利益は、ポラテクノ株式の売却に伴う税金費用、投資有価証券評価損が発生した前期と比べ915.4%の増益。

2020年3月期通期の前期比増減分析

売上高（百万円）

営業利益（百万円）

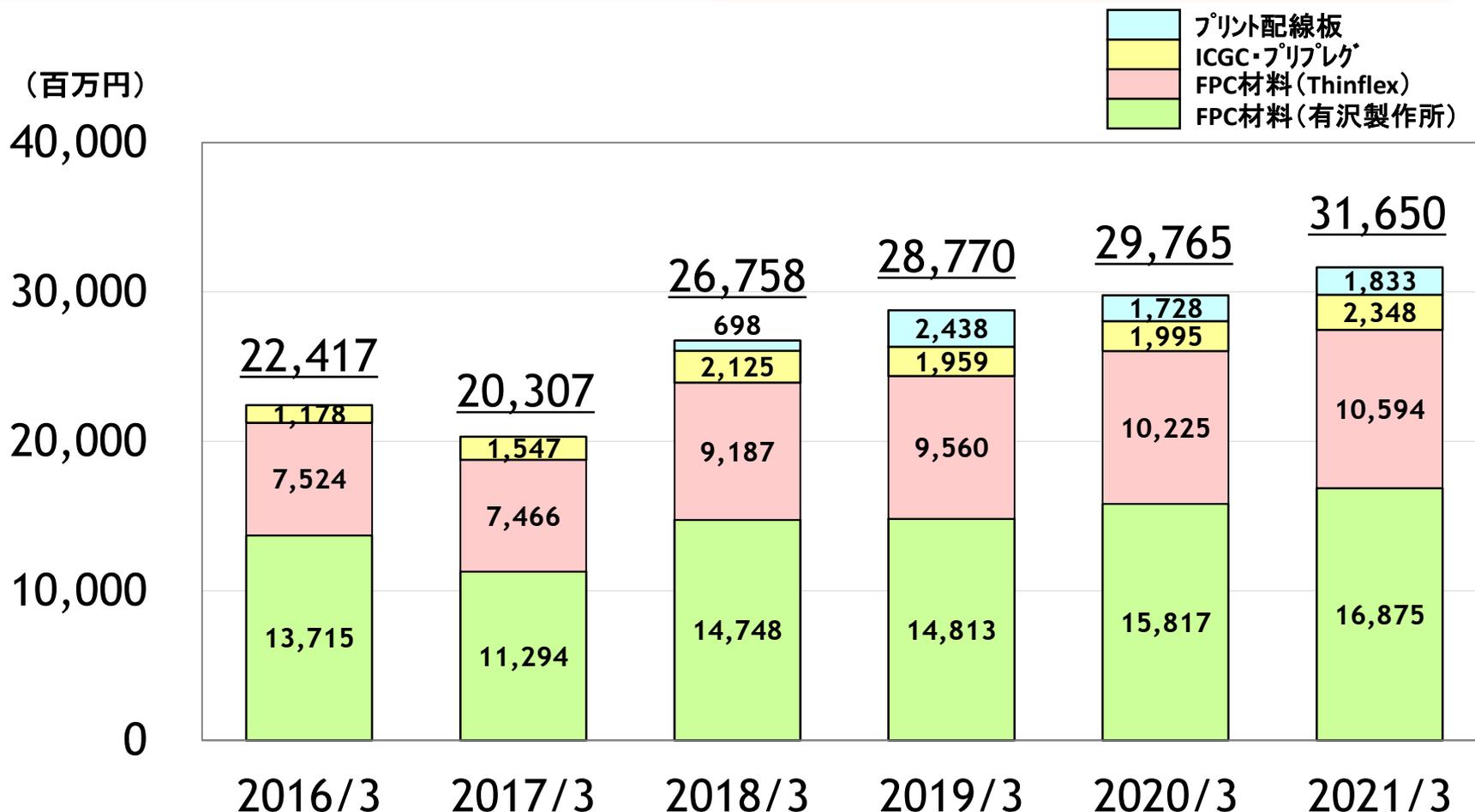


2020/3 2021/3

2020/3

2021/3

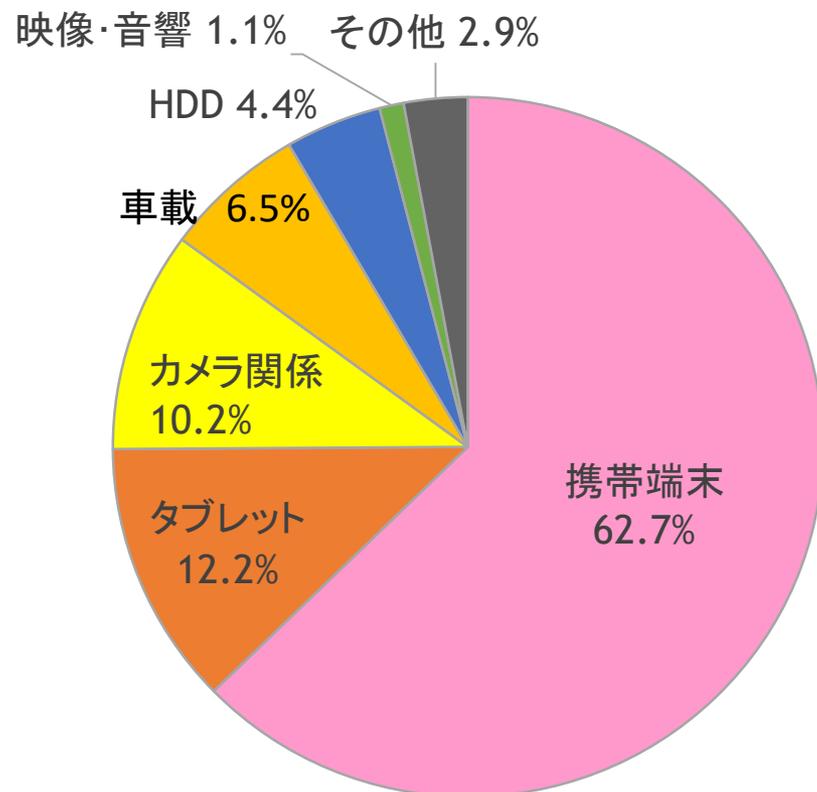
■ 電子材料の売上推移



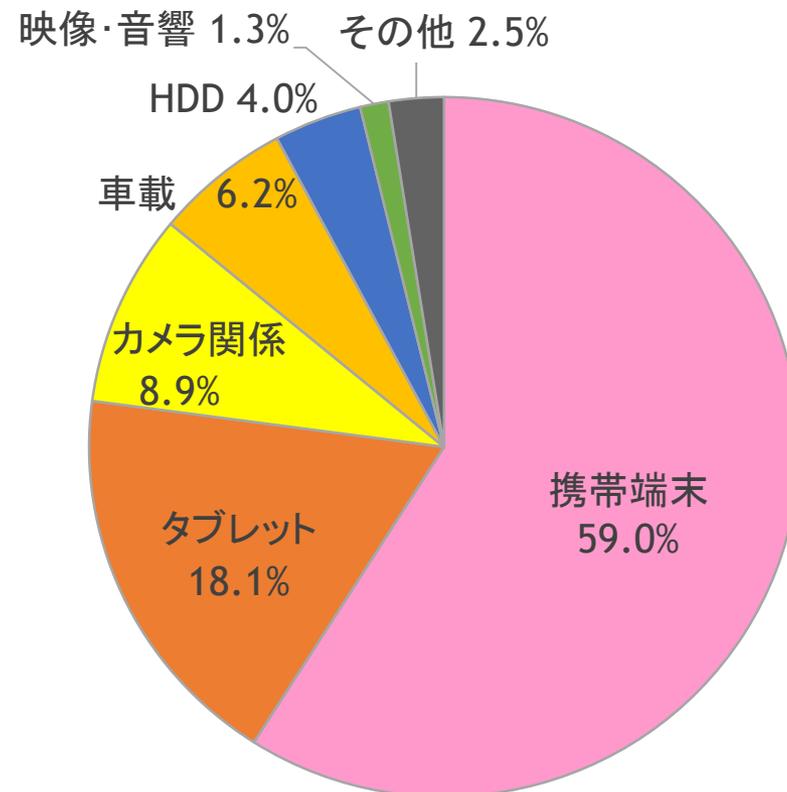
- ・モバイル、車載、半導体分野を中心とした新製品開発および連結子会社との連携で、競争力強化とシェアアップ

■ 当社製FPC材料の用途

2020年3月期

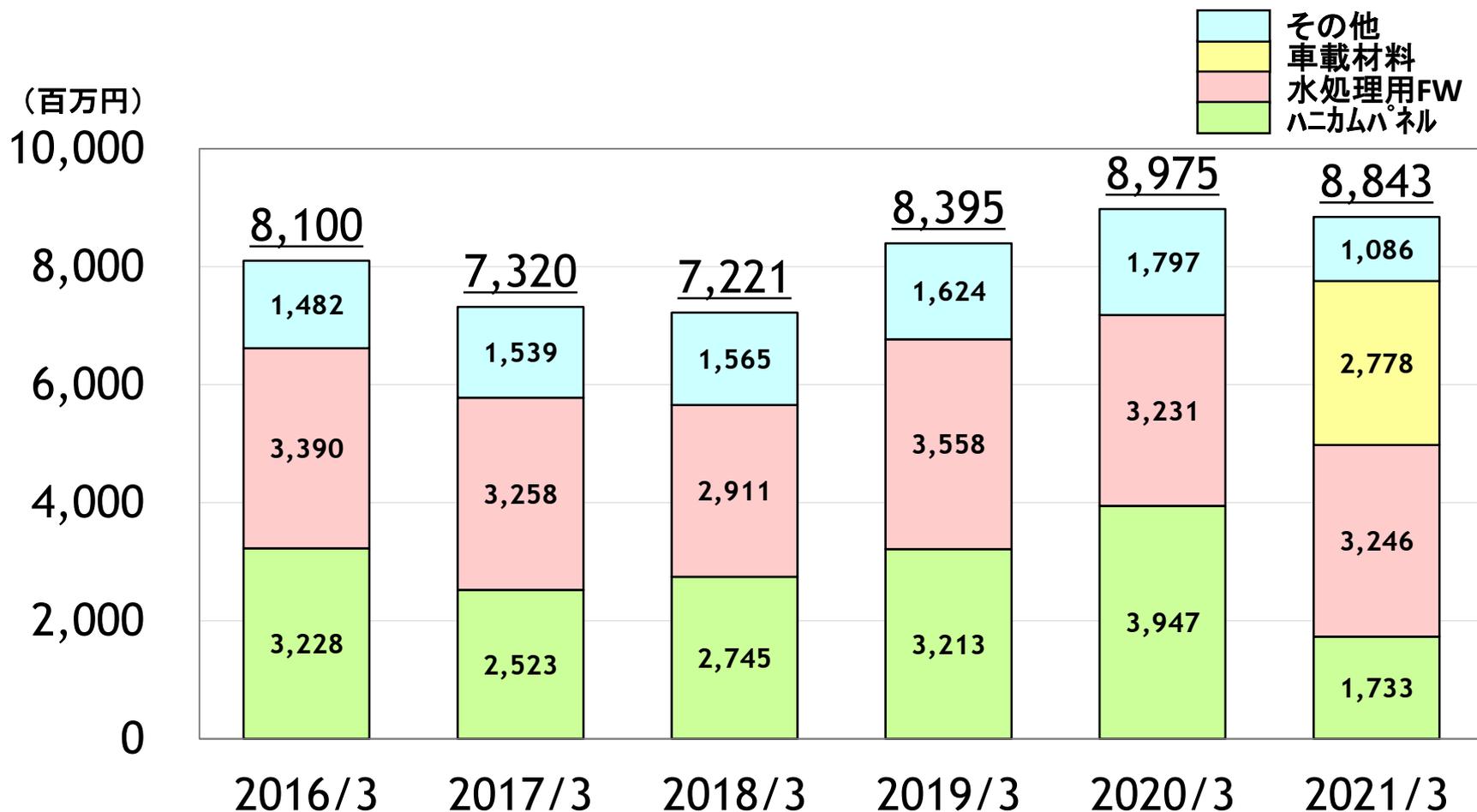


2021年3月期



数量ベース
出所：当社推定

■ 産業用構造材料の売上推移



- ・交通インフラ、水処理分野を中心とした新製品開発でシェアアップ
- ・20年度は、コロナ禍によりハニカムパネルが減少

目次

- 2021年3月期 連結決算
- 2022年3月期 業績予想
- 参考資料

■ 2022年3月期通期 連結業績予想

収益認識基準適用 後

(単位:百万円)	21年3月期 上期実績	21年3月期 通期実績	22年3月期 上期予想	前期比	22年3月期 通期予想	前期比
売上高	21,083	44,184	21,800	3.4%	44,400	0.5%
営業利益	1,392	3,175	1,400	0.5%	2,800	-11.8%
営業利益率	6.6%	7.2%	6.4%	-0.2%	6.2%	-1.0%
経常利益	1,365	3,634	1,400	2.5%	3,000	-17.5%
純利益	866	2,202	850	-1.9%	1,800	-18.3%
一株利益(円)	26.06	66.18	25.50*	-2.1%	54.00*	-18.4%
配当金(円)	0	39.00	0	--	未定	--
為替レート(円/\$)						
平均……	108.23	106.76	106.55		106.77	
期末……	105.80	110.71	107.00		107.00	

* 3月31日現在での株式数で試算

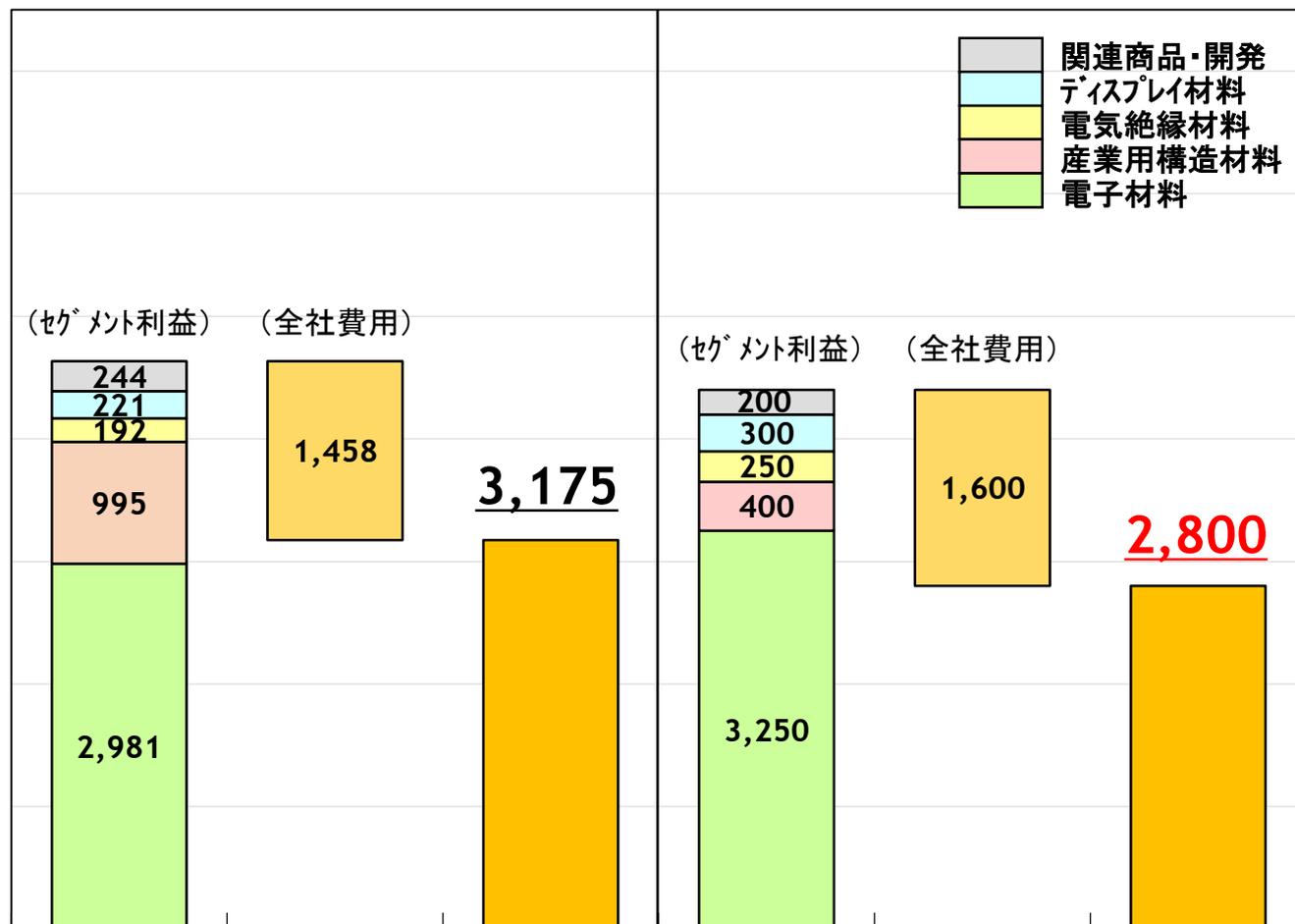
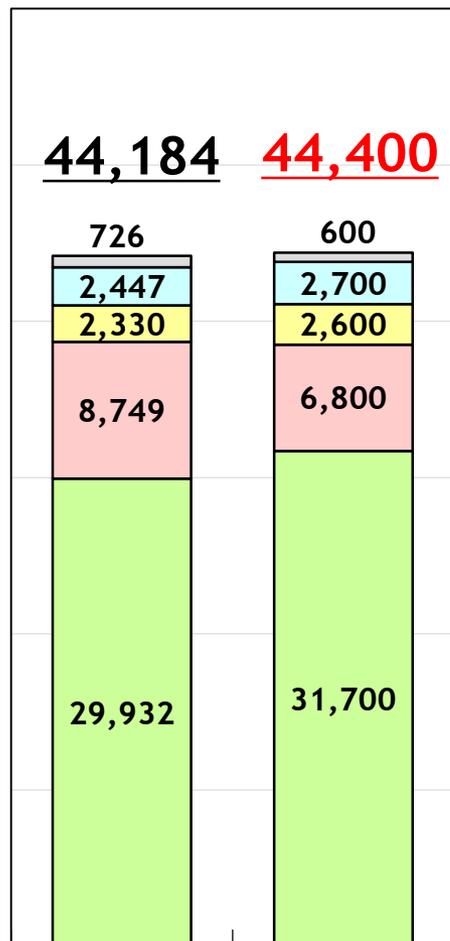
■ 2022年3月期通期 連結業績予想ハイライト

- 売上高は、前期比0.5%増収となるものの、営業利益は、産業用構造材料の収益低下により、前期比11.8%減益の見込み。
- 電子材料は、FPC用材料、ガラスクロス、プリプレグ及びリジットプリント配線板ともに堅調に推移し、前期比5.9%増収と予想。
- 産業用構造材料は、航空機用ハニカムパネルの需要回復が見込めず、前期比22.3%減収と予想。
- 経常利益は、円高の進展により前期比17.5%減益。
当期純利益は、経常利益の減少により前期比18.3%減益の見込み。

2022年3月期通期予想の前期比増減分析

売上高（百万円）

営業利益（百万円）



2021/3 2022/3
(予想)

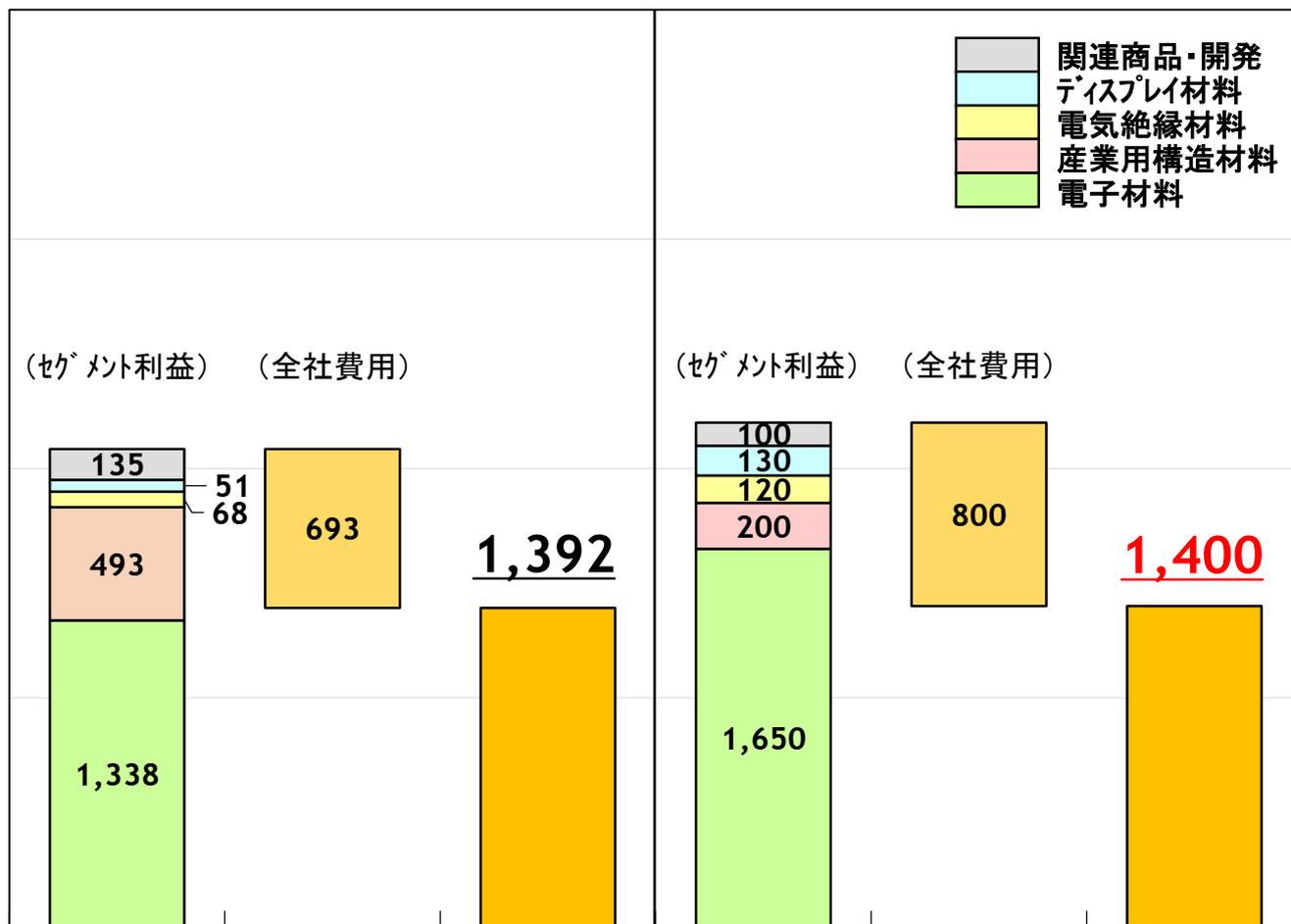
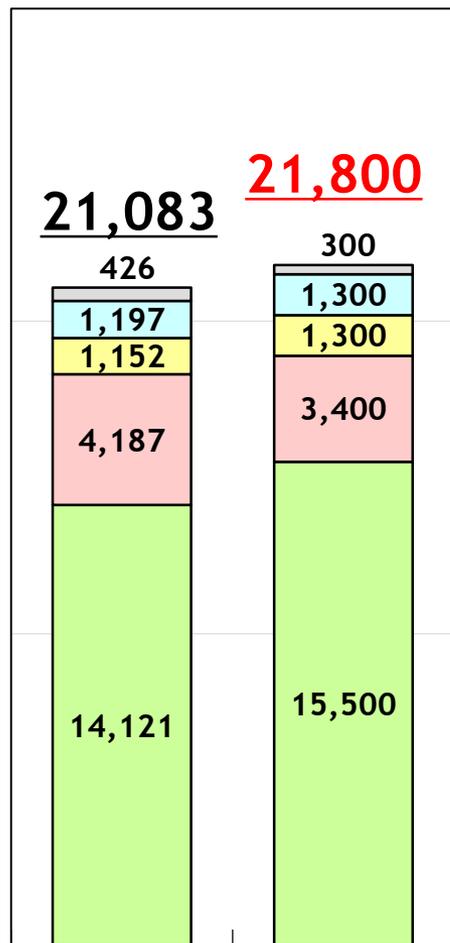
2021/3

2022/3
(予想)

2022年3月期上期予想の前期比増減分析

売上高（百万円）

営業利益（百万円）



2021/3 2022/3
(予想)

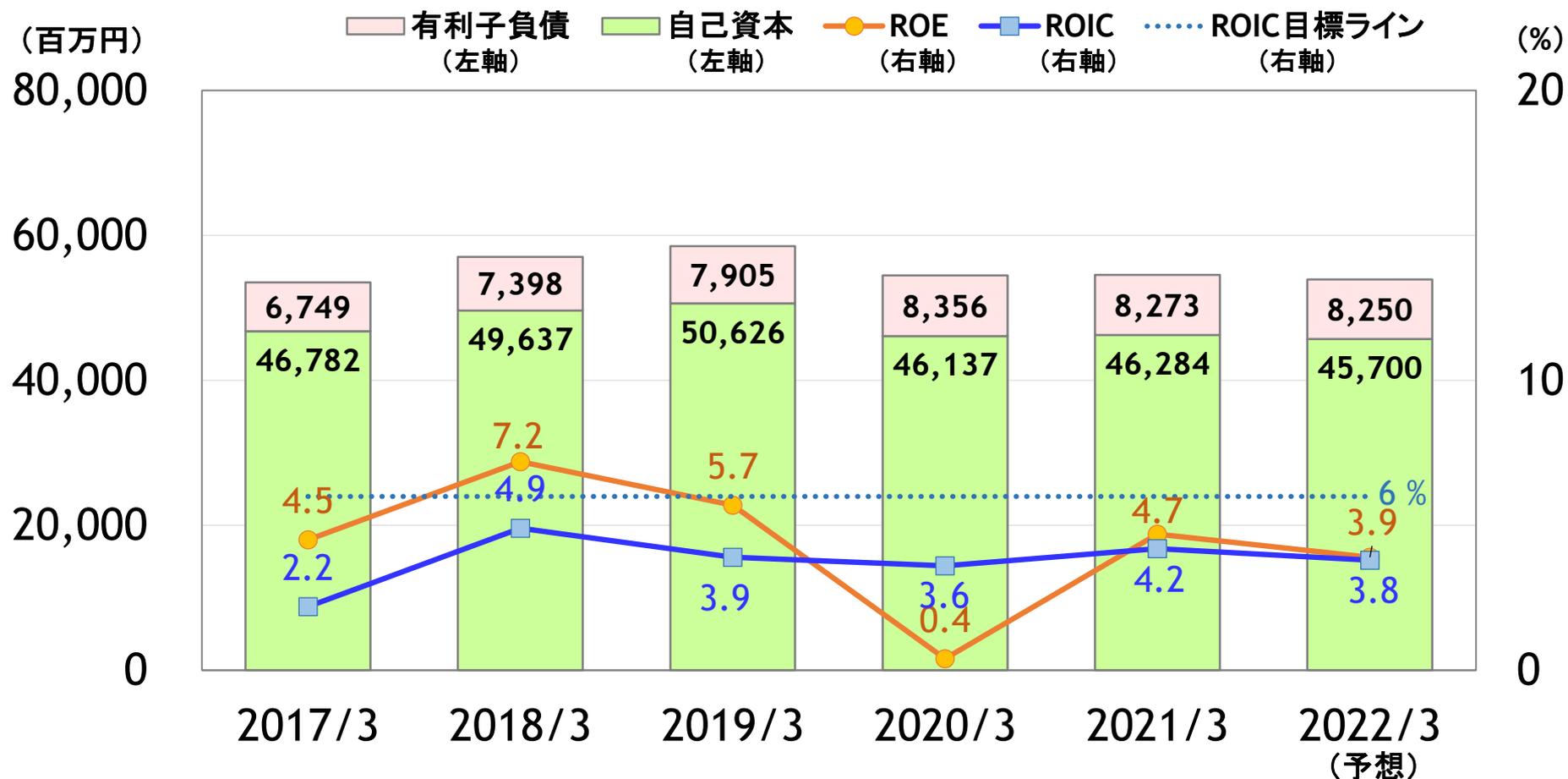
2021/3

2022/3
(予想)

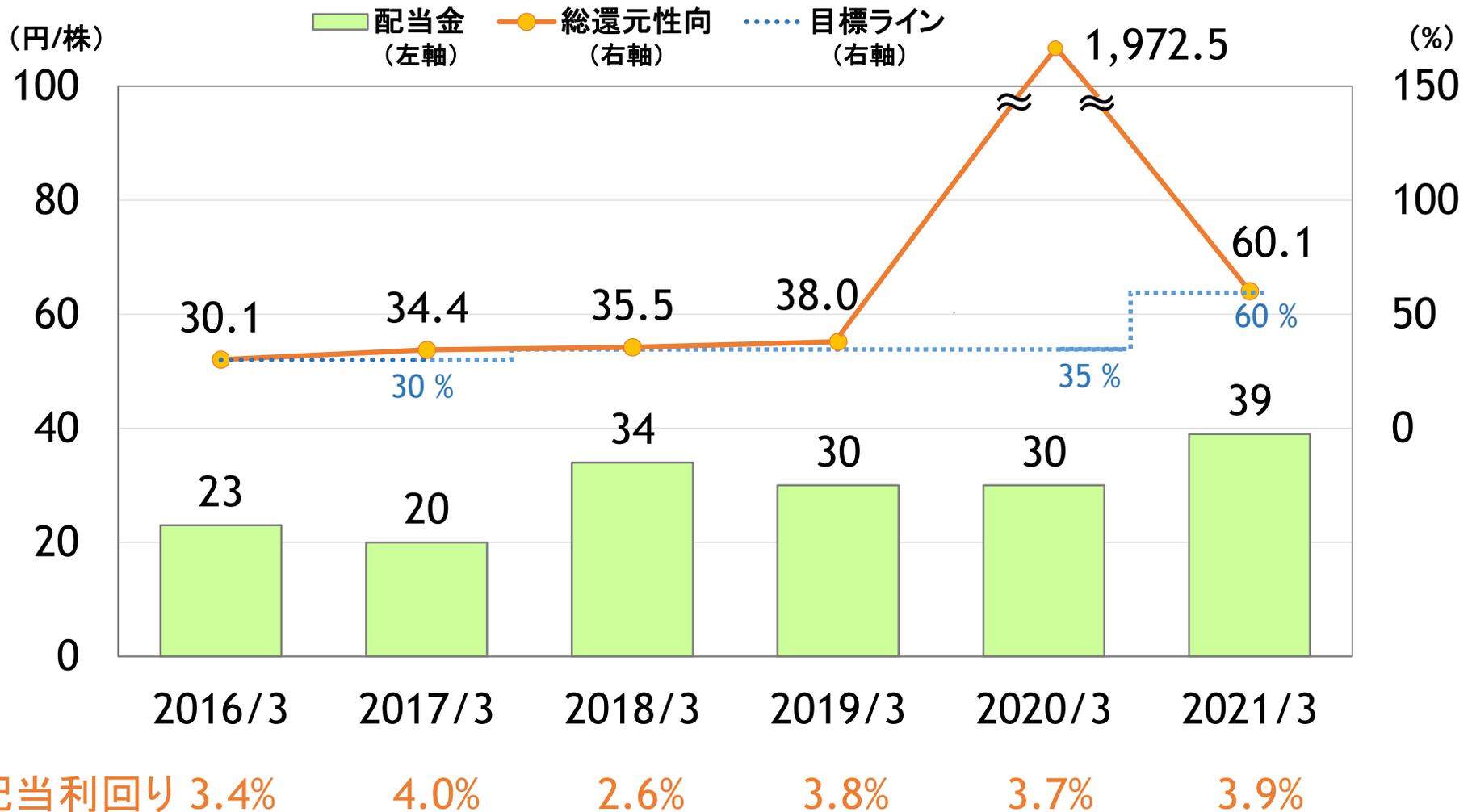
ROE・ROICの推移

ROE= 当期純利益 / 自己資本

ROIC= 税引き後営業利益 / (自己資本+有利子負債)



■ 配当金・配当性向の推移



目次

- 2021年3月期 連結決算
- 2022年3月期 業績予想
- 参考資料

■ 2022年3月期通期 連結業績予想

収益認識基準適用 前

(単位:百万円)	21年3月期 上期実績	21年3月期 通期実績	22年3月期 上期予想	前期比	22年3月期 通期予想	前期比
売上高	22,203	46,439	23,200	4.5%	47,300	1.9%
営業利益	1,375	3,118	1,400	1.8%	2,800	-10.2%
営業利益率	6.2%	6.7%	6.0%	-0.2%	5.9%	-0.7%
経常利益	1,347	3,578	1,400	3.9%	3,000	-16.2%
純利益	853	2,160	850	-0.4%	1,800	-16.7%
一株利益(円)	25.67	64.94	25.50*	-4.2%	54.00*	-16.3%
配当金(円)	0	39.00	0	--	未定	-7.7%
為替レート(円/\$)						
平均……	108.23	106.76	106.55		106.77	
期末……	105.80	110.71	107.00		107.00	

* 3月31日現在での株式数で試算

■ 収益認識基準適用による売上高への影響

2022年3月期決算より適用

(参考)

2021年3月期の通期実績

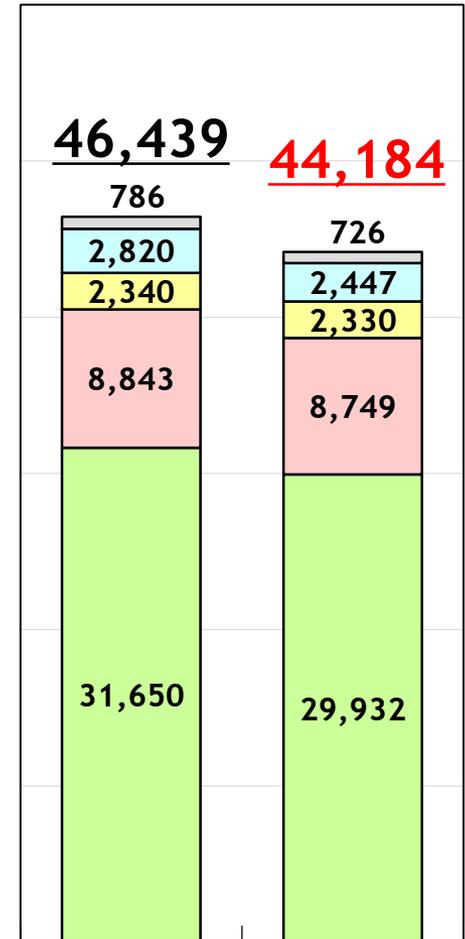
有償支給取引（支給品送り）	▲ 170
有償支給取引（受託加工）	▲ 2,379
代理人取引	▲ 6
立替取引	▲ 5
一定期間に充足される履行義務	+ 305

合計 ▲ 2,255

2021年3月期の通期売上高

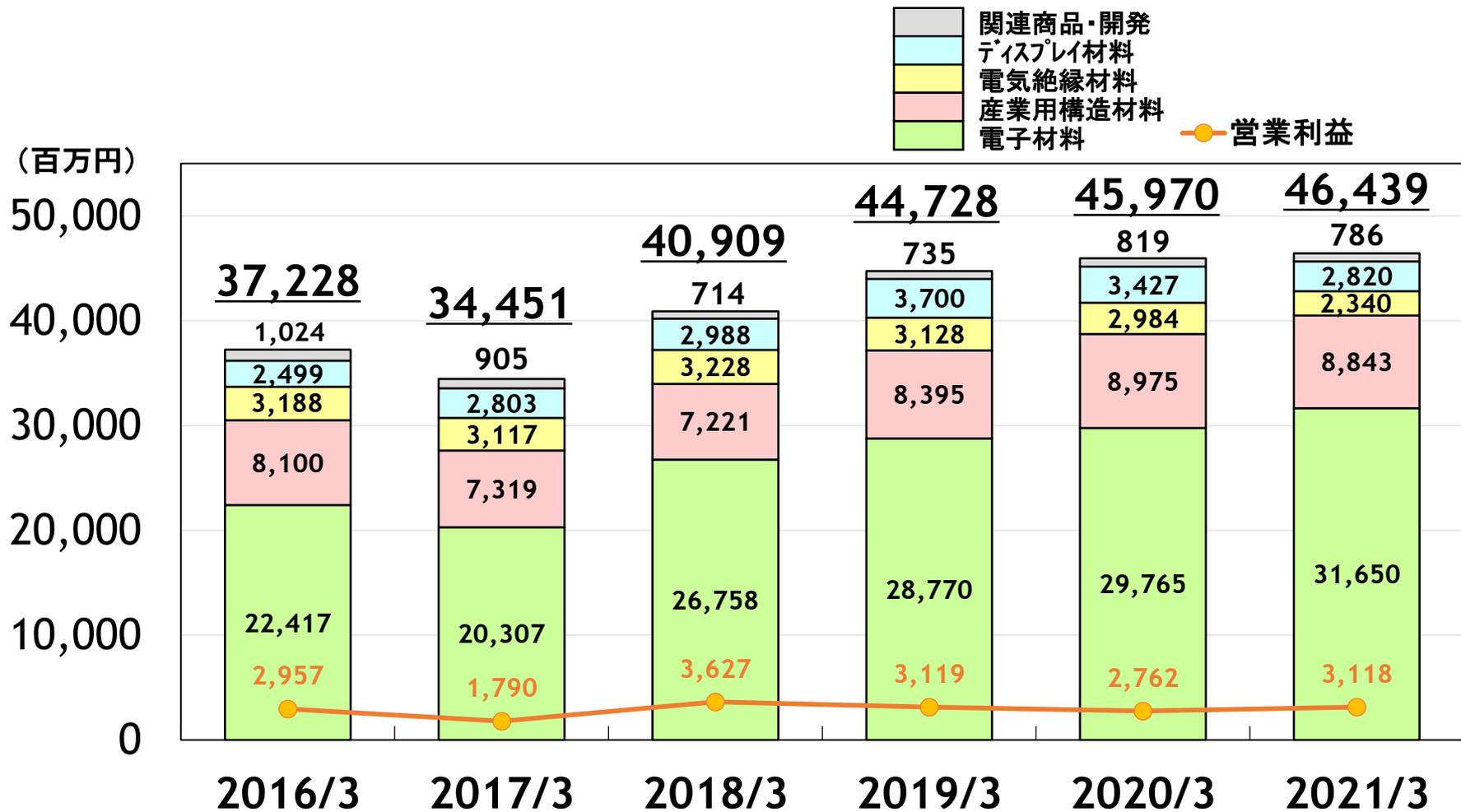
適用前 46,439 - 2,255 = 適用後 44,184 (百万円)

売上高 (百万円)



適用前 適用後

■ 年度別／分野別の業績推移(売上高・営業利益)



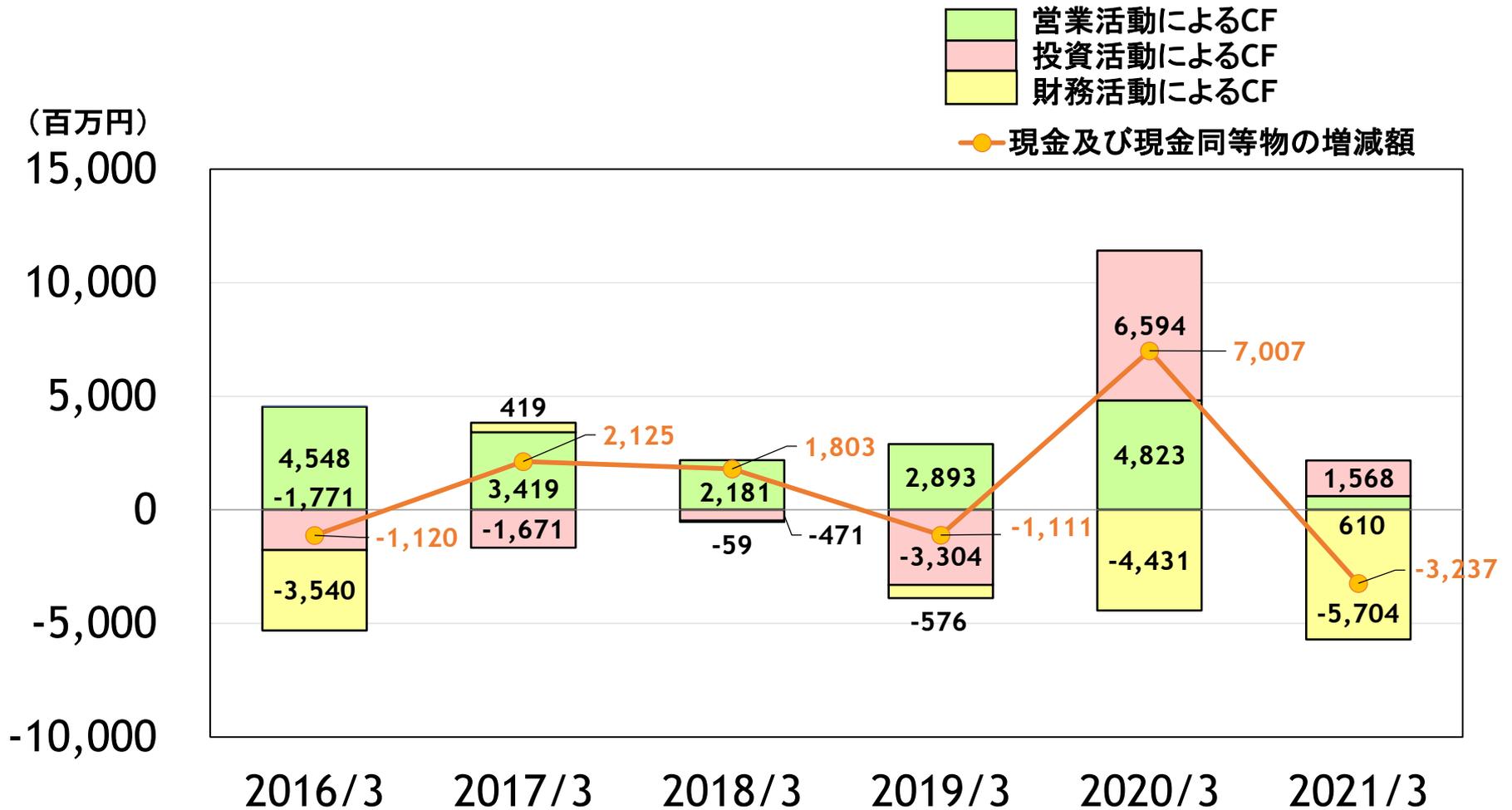
・電子材料、産業用構造材料が成長のドライバー

■ 会社別 通期業績(前期比)

(単位:百万円)

	売上高			営業利益			税引後利益		
	'20.3月期 通期実績	'21.3月期 通期実績	増減	'20.3月期 通期実績	'21.3月期 通期実績	増減	'20.3月期 通期実績	'21.3月期 通期実績	増減
単体									
有沢製作所	31,635	31,668	33	1,627	1,215	(412)	6,792	1,396	(5,396)
連結会社									
シンフレックス	10,270	10,583	313	752	916	164	259	482	233
サトーセン	1,728	1,835	107	(381)	12	393	(777)	13	790
アリサワファイバ-グラス	2,272	2,351	79	190	177	(13)	126	118	(8)
プロテック	3,105	3,025	(80)	397	436	39	322	356	34
有沢総業	1,950	1,799	(151)	290	234	(56)	213	195	(18)
有沢樹脂工業	289	233	(56)	9	(33)	(42)	10	(28)	(38)
カラ-リンク-ジャパン	1,534	1,379	(155)	(142)	13	155	(223)	10	232
(連結消去額)	(6,813)	(6,434)	379	20	148	128	(6,458)	(336)	6,135
持分法利益							(52)	(46)	6
合計	45,970	46,439	469	2,762	3,118	356	212	2,160	1,960

■ 連結キャッシュフローの推移

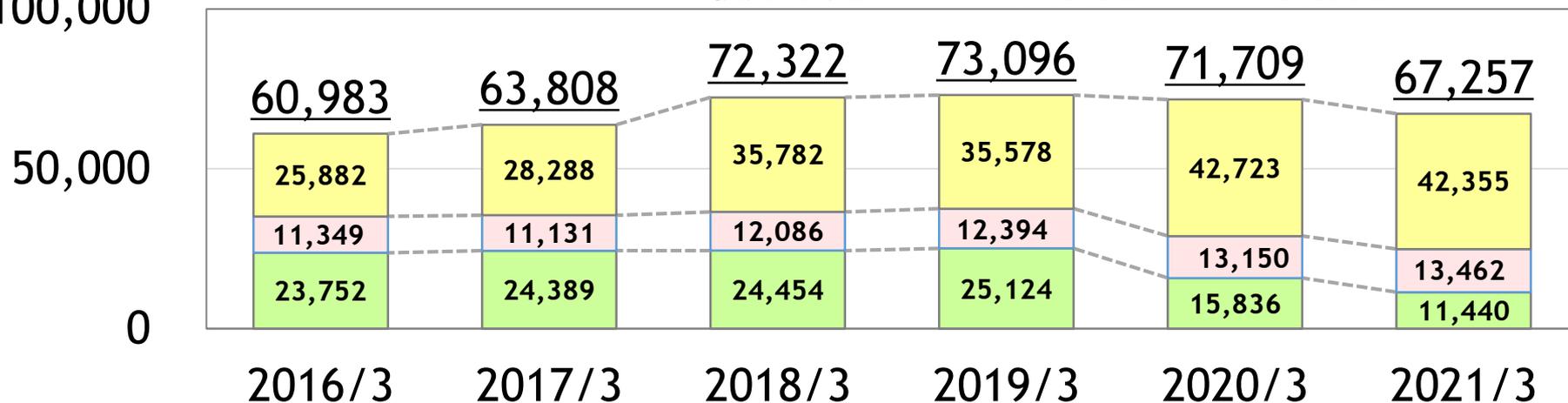


■ 連結貸借対照表(要旨)の推移

(百万円)
100,000

資産の部

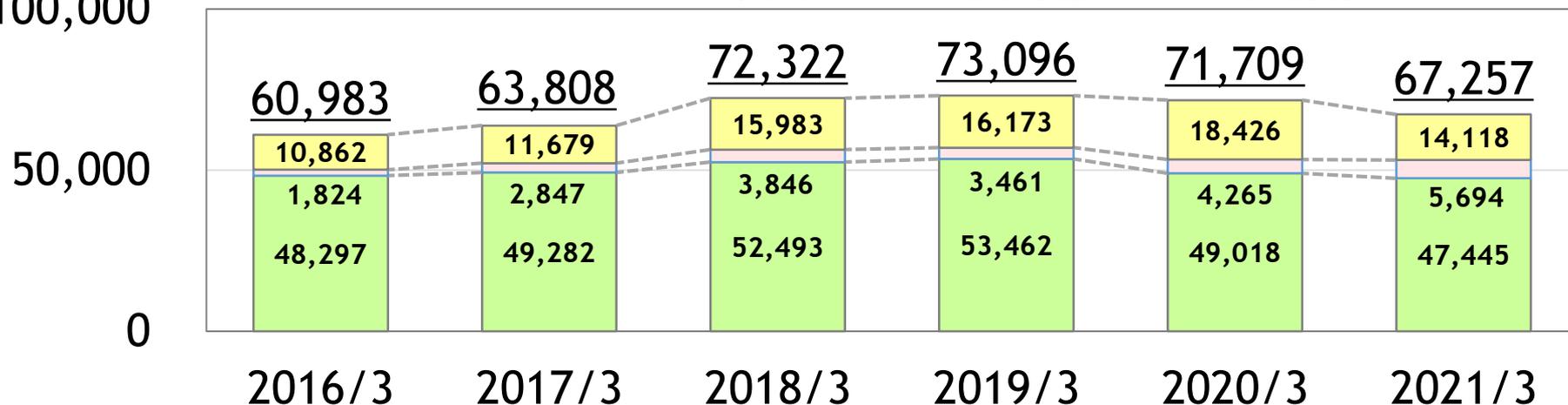
■ 投資・他資産 ■ 固定資産 ■ 流動資産



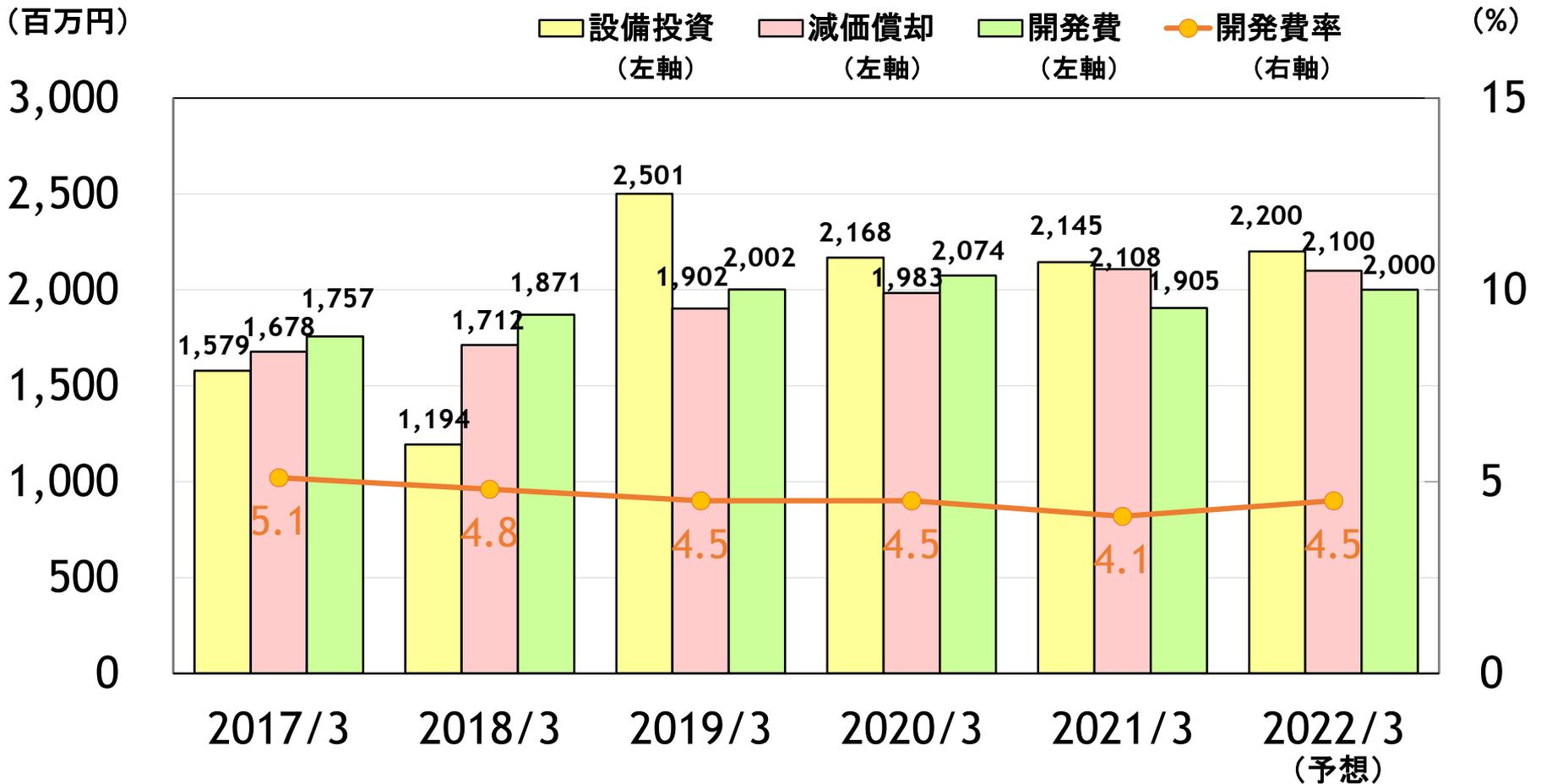
(百万円)
100,000

負債・純資産の部

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債



■ 設備投資・減価償却費・開発費の推移



本資料は、株式会社有沢製作所(以下当社)による口頭説明によって補完され、かつ、かかる説明との関連性において検討されるべきものです。当社の事前の書面による同意なしに、本資料及びその内容をいかなる目的にも使用することはできなく、また本資料の内容を公表する権利若しくは第三者に開示する権利を付与するものではありません。

本資料に示されている情報は、当社経営陣の予測に基づくもの、或いは本資料作成時点における実勢及び当社の見解に依拠したものであり、予告無しに変更されることがあります。当社は、公の情報源から入手した情報、その他当社の検討した情報が全て正確かつ完全であることを前提に本資料を作成しており、これらの情報について独自の検証は行っておりません。